

令和8年3月3日

保護者の皆様

松江市立八雲小学校

校長 杉谷 崇

八雲小学校学校評価のとりまとめについて(周知)

早春の候 保護者の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校教育に対しまして、ご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、12月には、今年度の本校の教育活動を振り返る「学校評価」へのご協力をいただき、誠にありがとうございました。その結果、本校の強みと課題がよりはっきりとし、今後、良さはさらに伸ばし、課題は解決に向けて教職員が一丸となって取り組む必要があると感じているところです。

学校評価の集計結果は、後日「八雲小学校 HP(ホームページ)」に載せる予定にしておりますので、ぜひご覧いただき、学校と保護者が思いを共にして今後のこどもたちの育成につなげていくことができたらと考えております。

今後とも、本校のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【学習意欲を喚起し、学びに向かう力の向上】

○この観点については、「特別支援教育の充実」の項目で教職員・児童共に非常に高評価でした。これは、児童の思いや声を大切に学習展開の工夫、そして、児童一人一人の支援の在り方について校内で研修や共有を図ってきた結果であると考えています。反面、保護者の肯定的評価は80%を切り、特に「わからない」と答えた方が15%でした。個の支援の充実を図るために、引き続き複数教員での授業や個別の取り出しの授業等を取り入れたり、児童の実態に沿った学習展開のさらなる工夫をしたりするとともに、その様子について保護者の方への情報発信を行っていく必要があると考えます。

○「学力向上」については、児童・教職員共に非常に高評価であるのに対し、保護者は否定的評価も一定数ありました。今年度も「教員の授業力の向上」「児童の対話力の向上」「家庭学習の充実」を推し進めてきたところでしたが、家庭での学習習慣が十分にはついていないことが課題として明らかになりました。前述三項には今後も注力すると共に、「自学」の推奨を引き続き行います。また、学級懇談時に家庭学習の手引きを活用し家庭での取り組みについて話をしたり、保護者同士がお互いに悩みの声を聴き合ったりする等の取組を行い、学校と家庭とが両輪となって児童の学ぶ意欲の喚起、学力向上につなげていきたいと考えます。

○図書館活用の充実、教職員の評価は高くはないものの昨年度に比べて高評価が12%増えているのに対し、児童、保護者は共に評価が低いという結果でした。学校図書館を活用した授業や図書館利用は充実してきているものの、読書の習慣まではついていない状況であると思われます。全校朝読書を増やす、週末は1冊持ち帰る、学期に一回程度、親子読書を週末に実施する、図書委員会の活動をさらに活性化させる等の取組を行いたいと考えております。

【人権尊重・人権尊重に徹した豊かな心の向上】

○この観点については特に「学校行事の充実」への評価が非常に高く、「人権教育の充実」も良い評価でし

た。今後も引き続いて充実させていきたいと思ひます。「学級経営の充実」については、教職員・保護者は良い評価でしたが、児童は肯定的評価が80%に至りませんでした。アンケート QU(3年生以上対象)や学校生活アンケート(低学年対象)の結果を有効に活用し、状況に応じてエンカウンターを実施するなど、児童とともに学級づくりをする意識をもつよう心がけてまいります。その中で、継続した「仲間づくり」や「思いやりの心の育成」に注力し、「自他共に大切にする児童」を育ててまいります。

【たくましく生きる力の育成】

- 「かっこいい」を合言葉に、良いと思つたことを自分からやろうという意識をもって過ごす児童が増え、落ち着いて学校生活を送っています。しかし、「あいさつ」に関する項目に課題があり、「自分から」あいさつのできる児童の育成、安心して自分を表現できる人間関係のさらなる育成が必要であると考へています。
- 体力・運動能力向上の項目は、児童・教職員は良い評価ですが、保護者は肯定的評価が80%に至りませんでした。「健康的な生活習慣の確立」は三者共良い評価となつており、これまでの学校と家庭の取組の成果が表れていると思へます。しかし中には過剰なメディア接触や不規則な生活習慣の影響がみられるケースがあり、今後も学校での運動量の確保に加え、健康な体をつくるための「睡眠確保」「メディア接触」等についても小中一貫で連携して取り組んだり、PTAと連携し、学校と家庭が一緒になつて取り組んだりすることの必要性を感じています。

【情報を広げる工夫をし、保護者・地域から信頼される学校づくりの推進】

- 学校からの情報発信については、教職員、保護者共に非常に高い評価でした。児童の様子や学校の様子がより伝わるように、今後も工夫を凝らし、学校、教職員、保護者が今まで以上につながるよう努めてまいります。また、「学校と保護者の皆様が思いを共にしてこどもたちの育成につなげていく」ことをめざして、本校HPで児童の活動や学校の様子を随時、配信いたしました。保護者の皆様からも高い評価をいただくことができたことは、たいへん喜ばしいことでした。ご覧いただき、誠にありがとうございました。来年度も積極的に配信してまいりますので、ぜひご覧いただけたらと思ひます。
- 「ふるさとを愛する子どもの育成」をめざして、八雲の宝である「ひと・もの・こと」に出会う学習を構想、実践してきました。三者共良い評価となり、ねらいの達成に向けた動きができたのではないかと考へています。中でも、多くの人とつながることができたことは、児童にとってかけがえのない財産になったと感じ、今後も計画的に続けていきたいと考へております。なお、活動の際には多くの方にボランティアとしても力を貸していただき、たいへんありがたく思ひました。

【学校教育目標達成を支える基盤の充実】

- 「学校安全の充実」は三者共に良い評価となり、これも、安全に向けたルールの徹底に加え、児童自ら考へて行動することが増えた結果であると思へています。特に登下校時の歩行の仕方については日常的に指導を行つておりますが、保護者・地域の皆様の力をいただきながら、今後も、児童の安全確保に向けて継続的に指導を行う等努めていきたいと思ひます。
- 「児童理解」は保護者・教職員は昨年度と同程度、児童も評価は伸びています。しかし、不満足に感じている児童も一定数いることから、「児童の話を書く」「児童の思いに寄り添う」等、より一層の児童理解に向けた動きが必要であると思へています。また、教育相談や面談、電話連絡や家庭訪問等も引き続き行うことで、児童とつながり、信頼できる関係を築いていく必要があると思へています。